

II 大阪成蹊大学

大阪成蹊大学 新学長 中村佳正 教授 就任のご挨拶

データサイエンスが拓く
新しい学び

本年4月より大阪成蹊大学学長に就任しました中村佳正です。学園創立90周年、また駅前新キャンパスと2つの新学部開設という節目の年の就任で一段と身が引き締まる思いです。

さて、一般に科学技術は、真理をめぐる探究や環境問題・エネルギー問題といった人類共通の課題の解決に向けて新たな知の獲得をめざすことで発展してきました。データサイエンスもそのような科学技術のひとつですが、大きな違いがあります。それは、提案する新たな価値への社会の評価や認知を得ることを通じて、データサイエンスの世界が広がってきたという側面です。辞書を引く代わりにインターネットのデータ検索で「グ

グ」ようになったことを思い出してください。

このような学問的性格の違いにより、これまでの大学教育とデータサイエンス教育とは少し異なるものになる可能性があります。例えば、データサイエンスによって新しい価値を提案する上で大事な理解力・想像力・構想力などは、豊富な良い事例のケーススタディを通じて実践的に養われていきます。また、データサイエンス教育の基盤は急速に変化・発展しており、大学で身に付けるべき情報リテラシーはプログラミング言語やツールの操作方法といった情報技術そのものではなく、その背後にあるデータサイエンスの考え方ということになります。

2023年に入った頃から私のまわりでも生成AIのChat(チャット)GPTが話題になることが多くなりました。データ検索では、調べたいことに関連するサイトがリストになって出てきて、我々はその中からサイトを選んで必要な情報を読み取っています。しかし、Chat(チャット)GPTは、質問に対してかなりの確率で内容を自動的にとりまとめて回答します。画像生成や音声で回答する生成AIも開発されているようです。Chat(チャット)GPTは

インターネット上にある大量の文章(ビッグデータ)をAIで事前学習した上で、文章生成においてある単語に続く別の単語を過去のデータから見た出現確率が一番大きくなるように選んでいきます。それだけだと間違いや不適切な表現が多くなるので、強化学習という手法を用いて人間からみて常識的で安心できるような表現となるようにフィードバックをかけます。

生成AIを使った新規のビジネスを考える人々が出てくると同時に、国や企業、大学によっては規制の必要性を議論しています。しかし、いったん動き出したこの流れは留まることはなく、知的作業だけでなく、今後の働き方・職業選択、産業構造や社会の成り立ちにも大きな影響がでてくると予想されます。「ググ」から、GPTで「ジビる」に変わりつつあるのかもしれない。

我々は生成AIの回答を鵜呑みにしないように、(間違いに気がつくだけの)専門的な知識と社会的な常識を身に付けておく必要があります。逆に、専門知識と社会常識をもっていれば、生成AIを使いこなすことで、大学での学びを格段に向上させることができるでしょう。大学は生成AIという新しい可能性を手に入れたのです。

大きく変化する時代に大阪成蹊大学もまた大きく発展させていきたいと思います。



食堂



図書館



多目的ホール



駅前新キャンパス

大阪成蹊大学 データサイエンス学部 学部長 吉川正俊 教授 就任のご挨拶

21世紀はデータの時代

4月に新設されたデータサイエンス学部の学部長を拝命しました。研究分野はデータベースであり、最近ではパーソナルデータの保護と活用に興味を持っています。

私は、日本で大学に情報系学科が設置された初期に情報工学科を卒業しました。その後、関連する学問分野や産業は爆発的な発展を遂げ、多くの大学で情報関連の学部などが開設されてきました。私のこれまでの歩みはその大きい流れに沿う形で、教員として4つの大学に勤務し、情報関連の新たな大学、研究科、学科、センターの新設時を経験しました。新設される組織を軌道に乗せるのは大変ですが最初から作り上げていく楽しみも大きく、今回もそのような機会を頂いたことに感謝しております。

センサー等を始めとする情報機器の高精度化、小型化により、社会活動のあらゆる側面においてデータの取得が可能となり、データをいかに活用するかが組織の命運を握るようになってきました。これはその組織が属する産業分野に依らず普遍的なものです。20世紀は石油の時代であり21世紀はデータの時代だと言われることがあります。石油は埋蔵量に限りがありますが、データは増加する一方です。

社会や組織が解決すべき課題の多くが、データに裏付けられた証拠に基づく、より確度の高い意思決定を必要とします。そのためには、最初に課題発見をし、その課題を解決するために膨大なデータの中から適切なものを収集、加工、分析した上で、その結果に基づ

き行動し課題解決を行う必要があります。データサイエンス学部は、このような課題発見から解決に至るすべての過程を担当できる人材を育成することを目標としています。

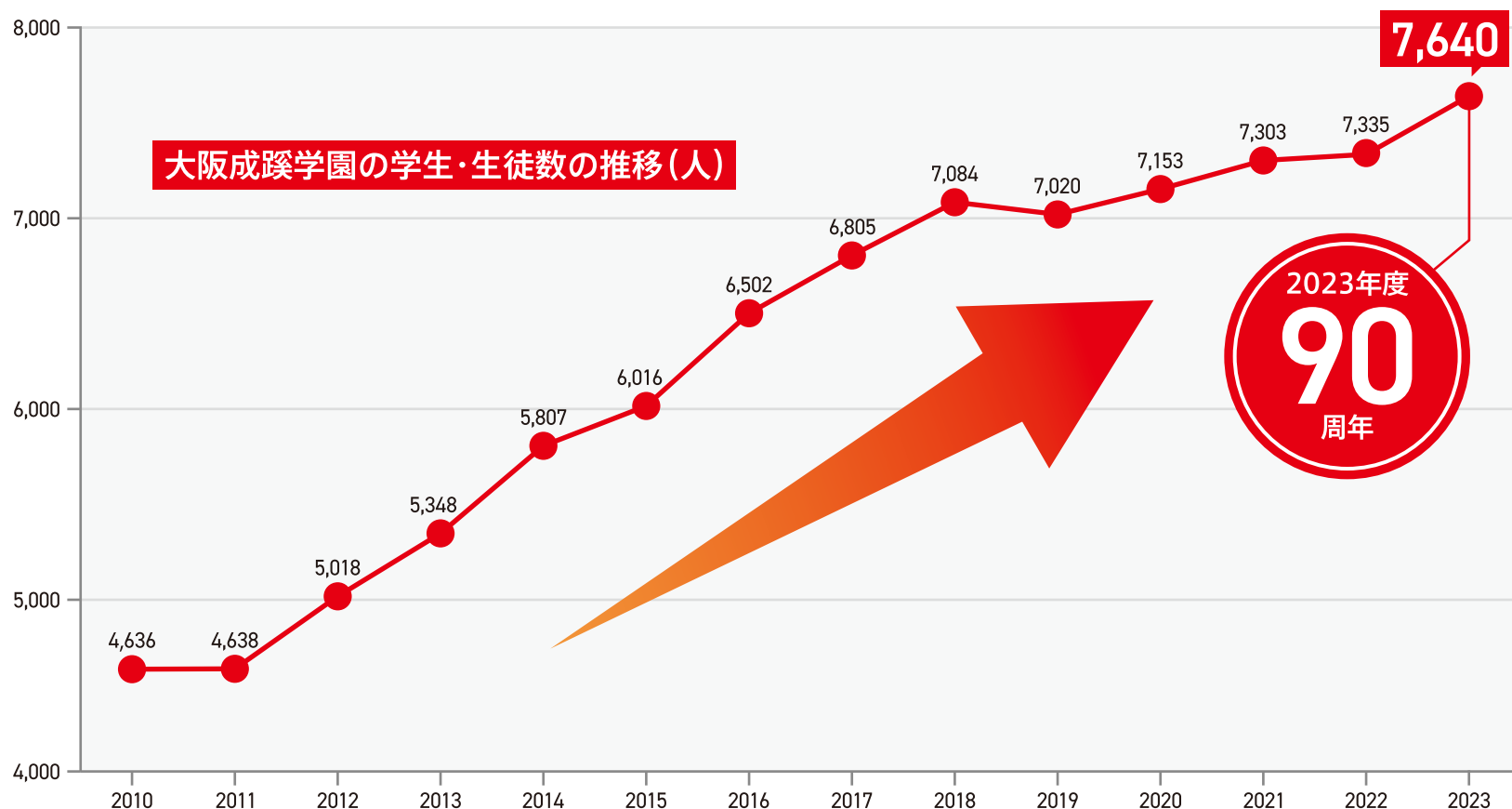
前世紀の終わり頃から始まった情報革命は産業革命に匹敵すると思いますが、昨今のChat(チャット)GPTを始めとする生成AIの動きなどを見ていると、革命がまた新たな局面を迎えていることを実感します。この局面が社会に何をもたらすかは未知数ですが、教育への影響も大きいと予想されます。今後、高等教育自体が無くなることは考えられませんが、明治以来の教育の形態に変化と多様化の波が訪れることは時間の問題でしょう。



データサイエンス学部は、そのような大きな変革の時代にあっても普遍的に必要な知識やスキルを身に付けることにより、これからの社会の中核を支える人材を育成して行きたいと考えています。入学からこれまでの様子を見て第1期生には大いに期待しているところです。

発展を続ける大阪成蹊学園！

少子化の中、学生・生徒・園児数が7,600名規模へ！



進化を続ける学園の学び

大阪成蹊学園は1993年の創設以来、傘下に大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学・大阪成蹊女子高等学校・こみち幼稚園を擁し、社会の変化を見据えたさまざまな教学改革を重ね、常に進化を続けてきました。その成果が実を結び、わが国の18歳人口が減少の一途を辿る中、2023年には学生数・生徒数は約7,600名となりました。そして2023年度には創立90周年を迎えるとともに、大阪成蹊大学では新たにデータサイエンス学部・看護学部が誕生し、文・理・芸の学びを擁する総合大学へと進化を遂げました。

開学20周年記念

びわこ成蹊スポーツ大学
マスコットキャラクター
& タグライン決定！

未来を、心を、動かす。



ひらやん

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学のキャラクターもお楽しみに！

2023 ▶ 新学部、新コースが始動！

大阪成蹊大学

データサイエンス学部

スーパーコンピュータ「富岳」の見学会

新入生希望者でスーパーコンピュータ「富岳」の見学会を実施しました。神戸のポートアイランドにある理化学研究所 計算科学研究センターを訪問し、富岳の見学および富岳を使った研究紹介を聞きました。新型コロナウイルス飛沫のシミュレーションや災害対策など様々な研究に利用されていることを学びました。

新入生にとっては世界最先端の計算科学を体現する「富岳」を肌で感じることで、今後4年間のデータサイエンスの学びのモチベーションになりました。



看護学部

真新しいユニフォームを着用し演習がスタート



多様化・複雑化する医療ニーズに応えられる看護師の育成に取り組む看護学部。入学したての1年生たちの基礎看護学領域において中核となる知識・技術を学ぶ授業が始まっています。「基礎看護学方法論Ⅰ」の授業では、新しいユニフォームに袖を通して、療養環境を整えるためのベッドメイキングやシーツ交換などの演習に挑戦。予習して、教員のデモンストレーションを見て、実践を繰り返しながら、看護援助技術の基本を修得していきます。9月には初めての臨地実習を予定しています。

大阪成蹊短期大学

経営会計学科



医療事務コース誕生 (23年4月開設)

医療事務と一般事務の両分野の資格・検定に対応。幅広く活躍できる医療事務人材を育てます。

医療事務コース5つの特色

- ① 医療分野で専門性の高い資格に幅広くチャレンジできます／
- ② 看護助手への道も広がります／
- ③ さまざまな医療現場で活躍できます／
- ④ 経営会計学科として、幅広い実務系資格取得や検定合格も併せて可能です／
- ⑤ 就職に強い本学は、就職率100%をめざしています

2023年4月に学園創立90周年

発展の基礎となる学園独自の「LCD教育プログラム」

4年間の学びの基礎となる アカデミックスキルの修得

SDGsをテーマに「人間力」を高めます。グループ別の協働・探求型の学びで、レポートの作成技法やプレゼンテーション技法を獲得し、物事の本質を掴み、課題を解決していきます。

少人数ゼミを核に 実務・研究の最前線へ

専門に関する様々なフィールドの調査・演習・実習や学外機関との連携によるプロジェクト型授業を展開。多くのゲストスピーカーを招聘して、専門性に磨きをかけます。

AI社会を生き抜く教養と データサイエンスの基礎スキルの獲得

情報化の進む様々な領域で必要とされるデータサイエンスの基礎を養うプログラムを全学で展開。倫理・法・社会問題の観点から、AI社会を生きるために必要な素養を身につけていきます。

First Year
Experience

初年次教育

在学中の学びの基盤となる
様々なアカデミックスキルを
身につける

Career
Education

キャリア教育

自分の生き方を描き、
卒業後も真に役立つ思考力、
判断力などを身につける

産官学との連携による 社会人基礎力の修得

ソーシャルタッチポイントを重視した問題解決型授業に加えて、企業・自治体と連携したインターンシップ制度を通じて、一人ひとりが成長を実感しながら、卒業後の活躍を見据えた実践と省察を繰り返します。

多彩な科目区分による 教養知の涵養

人間と智、国際社会と日本、科学と環境、健康とスポーツなど、多様な教養科目群をはじめ、社会の変化に対応した新しい教養科目を開講しています。

世界をフィールドに培う グローバル教養と国際的な専門性

海外での主体的な学びと体験を通して「グローバル・アクティブラーニング」を実践。留学制度をはじめ、国際社会で活躍するために必要な視野や生きた語学力を身につけるための教育プログラムが充実。

満足度は
ほぼ**90%
超え**

卒業生の本学の 学びに対する評価

卒業時に実施する「卒業生アンケート」では、教育に対する高い満足度が確認され、多くの学生が成長を実感！

2023年3月卒業生アンケート結果（アンケート回収率：大阪成蹊大学89.3%、びわこ成蹊スポーツ大学91.2%、大阪成蹊短期大学92.3%）

大阪成蹊大学

成長実感度	97.7%
教育満足度	94.1%
入学満足度	94.5%
教職員のサポート満足度	97.3%

びわこ成蹊スポーツ大学

成長実感度	96.0%
教育満足度	90.3%
入学満足度	91.6%
教職員のサポート満足度	89.6%

大阪成蹊短期大学

成長実感度	97.3%
教育満足度	98.1%
入学満足度	96.8%
教職員のサポート満足度	97.9%

2024 ▶ 魅力あふれる新コースを続々開設！

びわこ成蹊スポーツ大学

■スポーツ学部

6コースから3領域8コースへ。 新カリキュラムスタート！

時代や社会の変化に柔軟に適応し、求められる人材を育成するために、それぞれの分野でスポーツ学を極める3領域8コースを用意。効率的に学びを深める「オンライン授業」、外部の教育資源を有効に用いる「オープンリソースの活用」、幅広い分野・領域を学びながら専門分野を修得するための「コース選択、ゼミ選択の早期化」など、幅広く深く学ぶ充実のカリキュラムへと進化します。



2023年現在

- 学校スポーツ教育コース
- スポーツビジネスコース
- 健康・トレーニング科学コース
- コーチングコース
- 野外・レクリエーションスポーツコース
- 生涯スポーツコース

2024年～

コーチング 領域

- 学校スポーツコース
- アスリートコーチングコース
- アウトドアスポーツコース

マネジメント 領域

- スポーツ政策・文化コース
- スポーツビジネス・メディアコース
- スポーツパフォーマンス分析コース

健康・医科学 領域

- トレーニング科学コース
- 健康・スポーツ医科学コース

大阪成蹊短期大学

■生活デザイン学科

イラスト・アニメ・デザイン コース誕生！

2024年4月、生活デザイン学科に新たにイラスト・アニメ・デザインコースを開設。実践力を高めることを目的とした様々な実習や演習科目を展開。また、授業の形式を問わず、すべての科目でアクティブラーニング授業を展開し、教育効果を最大限に高めていき、イラストやグラフィック、アニメなど、幅広い分野で活躍できるデザイン力を養います。



大阪成蹊女子高等学校

■普通科

英語コースを新たに新設！

国外で通用する英語に重点を置いたカリキュラムで、授業では英語でのやりとりはもちろん、英語の4技能「聞く・話す・読む・書く」を組み合わせる実践的な英語力を身につけます。また、オーストラリアへの短期留学制度（奨学金制度の活用可）があり、短期留学前に英検準2級を、卒業までに2級～準1級取得をめざします。

さらに、ベルリッツ英会話レッスン、オンライン英会話レッスンの費用を学園が全額サポートします。



学長対談「新時代の大阪成蹊 データ活用のみらい」

大阪成蹊大学 × びわこ成蹊スポーツ大学

まるで人間のように自然な言葉を発する「チャットGPT」などの生成AIが社会で話題になった今春、大阪成蹊大学のデータサイエンス学部がスタートしました。
言葉だけでなく画像や映像、音声を作り出し、プログラミングもできる生成AIは、データサイエンスの枠を超えてさまざまな分野に影響し始めています。
AIが進化した未来に向けて、大学はどのような人材を育てるのでしょうか。大阪成蹊大学の中村佳正学長とびわこ成蹊スポーツ大学の大河正明学長が対談しました。

——中村学長はデータサイエンスが専門です。データサイエンスとはどのようなものか、教えていただけませんか。

中村学長 情報学や統計学を用いて、膨大なデータから因果関係とそれが意味する「価値」を読み取る学問です。経済や行政、交通、医療、教育、環境などに関して世の中にはさまざまなデータが大量に存在しますが、そのままだでは単なる数字の山。統計学をフルに使い、コンピューターで処理することによって、「どの要因が最も結果に関係しているか」といったデータ相互の関係が読み取れます。データサイエンスは、データが持つ意味を見えるようにする学問だとも言えます。

私はもともと数学が専門でした。数学だけを使って解決できたのは方程式で記述される理論物理ぐらいです。人間の営みや自然現象自体はものすごく複雑で、数学だけでは解決しません。今まで手がつけられなかった部分に手を伸ばそうとしたときに、データサイエンスが必要になったのだと思います。

データサイエンスによってデータの意味が読み取れるようになる、それを判断材料に使えます。既にさまざまな分野にデータサイエンスが導入され始めています。

大河学長 私が専門とするスポーツの世界でも、データサイエンスが重要になっていきます。

バレーボールでは、試合中に監督やヘッドコーチがタブレットを手に持ち、相手チームの分析をして選手にアドバイスをしています。バスケットボールでも、強いチームはスカウティングコーチを複数雇い、相手の戦術などを分析して次の試合に役立っています。1戦目に20点差で敗れたチームが、翌日の同じカードで大差で勝利するケースもあります。選手の調子だけではなく、明らかにデータ分析の力です。

従来は勘と経験に頼っていた部分が、データで裏付けされてきています。データサイエンスを活用しないと取り残されてしまう時代に入っていますね。

——データサイエンスの重要性が増すなか、大阪成蹊大学は今年4月にデータサイエンス学部がスタートしました。

中村学長 本学部の売りは教員です。ツイッターで「大阪成蹊大学のデータサイエンスはすごい先生をそろえているみたいだ」「どういことだ」と話題になったようです。新キャンパスで教員の部屋と学生ゼミ室が交互に配置されていますが、1年生が入り浸っているゼミ室もあります。1期生はとても得をしていますね。

大阪成蹊学園としては以前からデータサイエンスを重視し、びわこ成蹊スポーツ大学は既にデータサイエンスを導入しています。

大河学長 データサイエンスを学ぶ場合、スポーツを題材にするとりやすいと、データサイエンスの専門家から聞きました。既にデータサイエンスを取り入れた授業の充実を図っています。さらに、来

年4月のカリキュラム改編で「スポーツパフォーマンス分析コース」が新たにスタートします。データサイエンスを学んだ学生が、いずれプロスポーツの世界で活躍してくれるでしょう。

プロサッカーチームの浦和レッドダイヤモンズでは、アナリストのコーチとして卒業生が活躍しています。私たちの大学は「するスポーツ」の学校だと思われていますが、「ささえるスポーツ」の人材も輩出していきます。日本スポーツアナリスト協会という組織もあり、提携できたらいいと思っています。

大阪成蹊大学のデータサイエンス学部と連携して、いろいろな競技のデータ分析や映像解析を学べるようになったことは強みです。スポーツの仕組みやルールはうちの学生がよく知っているため、両者がうまくかみ合うことによって戦術やフィジカルの向上が見込めます。

中村学長 データをどのように処理して分析し、読み取るかということはある程度専門性がないとできません。うちの教員にもスポーツデータサイエンスに興味を持っている人が複数いるので、同じ学園の中で連携できますね。

——びわこ成蹊スポーツ大学で昨年始動したアスリートサポートステーション(ASS)は、どのような取り組みをしているのですか？

大河学長 一流のアスリートが専門機関で実施する測定と同等の高度な測定を行い、トレーニングメニューの立案などによって競技力の向上をサポートします。例えば、サッカー部では「日本プロジェクト」として専門の教職員を軸にサポートプログラムを進めているのですが、ASSでの測定データは非常に有効です。

また、外部の利用もあります。高校の女子バレーボール部などの選手たちに来てもらい、瞬発力や全身持久力などを測定してあげると、自分たちの強みや弱みが見える化されて喜ばれます。トレーニングは「やらされている」と思いながらやるより、どこをどう改造するためにやるのか納得してやる方が効果的です。



——自然な言葉や画像などを作ってくれる生成AIが話題です。

中村学長 AIはデータサイエンスの中心の存在です。新しく出てきた生成AIは、従来のIT(情報技術)の延長線上にあったデータ検索とは根本的に異なり、「現代の黒船」といふべきものだと思認識しています。大きな変革をもたらします。



自然な言葉を発する生成AIは、あらかじめインターネット上にある言語のデータを読み込み、ある単語の次にどんな単語が続く確率が高いかを学習しています。この学習を利用し、単語を次々につなげて文章を作っていきます。データ検索ではいくつもの候補が並んでいますが、生成AIではそれらがつながって文章になっていくようなイメージです。いかに滑らかな文章が作られるかが従来の単なる情報処理とは違って、どうしてそのようなことが可能なのか、情報科学の研究として興味を持っています。

学問的な興味だけでは済まされず、社会でどのように付き合っていくのかという課題も生じています。大学での教育や教員の研究テーマも変化が求められるようになるため、生成AIは目下の最大の関心事です。

生成AIの浸透はもはや避けられません。いかにルールを定めて使えるものにしていくかが課題です。うまく使うことで、社会も大学もいろいろなのが大きく発展します。

データサイエンスは、データとデータの間に強い関係性があると示唆するだけであって、魔法の杖ではありません。という理由でそんな関係性があるかということは、人間が自らのアタマで考える必要があります。

大河学長 そうですね。スポーツで例えると、人間が気付いていない作戦をAIが提案したときに、その競技の戦術を理解していないと、その作戦が本当に正しいのかが分からず、うまく活用できません。

私は、仮説を立てる能力が必要なのだと思います。ある作戦で試合をしたいという場合に、データに裏付けされて正しいかどうかを

ています。教員採用試験を受ける学生たちに話を聞くと、みんなしっかりした考えや経験を持っていて、頼もしく思いました。特にAIに関しては、教育現場での向き合い方がこれから課題になってきます。若手の先生は、自分の考え方をしっかりもった上で、スキルを身につけていることが必須になると思います。感性が柔らかく、変化にうまく対応できる若手は、現場での存在意義は高いと思います。

——私たちはAIとどのように向き合ったらいいでしょうか。

大河学長 昔は辞書を引いていたのが、今はWeb検索です。Web検索で調べた内容は、間違っているかもしれないので注意が必要です。AIは、Web検索が発展したイメージでしょうか。AIの回答をうのみにせずその真偽を見定めることも意識しないとダメですね。

中村学長 そうですね。私の認識では、先輩にアドバイスを受けていたのが、AIにアドバイスを受けるように変わる感じでしょうか。先人が残したものを学ぶという意味では、先輩なのか、AIなのか、聞く相手が変わっているだけなので、怖いことはないと思います。言うことをすぐに真に受けるのではなく、自分なりに受け止めて、判断すればいいと思います。

——外部との連携についてお話しください。

中村学長 企業は今、データサイエンティストだけでなく情報系全般が人手不足です。特に、今何が求められているかを理解してプログラミングができる人材が求められています。私たちの大学にもいくつかの企業や団体から連携の話をいただいています。教員の研究内容を企業向けに発信し、関心のある企業と連携できたらと考えています。

日本で最初に本格的なデータサイエンス学部を設置した滋賀大学では、企業のコンソーシアムを設立して共同研究費を得ています。教員だけでなく十数人雇用しています。滋賀大学の学長はデータサイエンスが専門で、すっかり意気投合したのですが、「彦根の大学に企業が来るのですから、大阪成蹊大学ならもっと来ますよ」と言われました。確かに、非常に可能性があると思います。

大河学長 びわこ成蹊スポーツ大学は、プロサッカーのセレッソ大阪やプロバスケットボールの滋賀レイクスと提携しています。どちらもユースチームを持っていますから、成長期の子どものフィジカルデータを集めることも可能です。個人情報扱いにはもちろん配慮し、成長期にどのようなトレーニングをしたらどういう影響があるかを分析できます。

——本日お話しいただいたように、社会は新しい時代へ突入しています。そのような時代に、大学はどのような人材を世に送り出していくのでしょうか。

中村学長 今までは、たくさんのデータを知っていて、そこから

何か答えを出す人材が重宝されていました。ところが生成AIが当たり前になると、そうやって得られる答えは誰もが共有しているものになってしまいます。そういう時代には、誰も考えてなかったようなことを思いつく人が必要になります。本当にユニークな存在をめざすことで輝きを増すでしょう。特別な感性を持つなど、個性豊かな存在になることが大事です。そういった人材育成をしていきたいと考えています。

大河学長 スポーツを通じて、先を見通す力や自主性、世の中で生きていく力が鍛えられます。これらはAIの時代にこそ求められるのではないのでしょうか。

例えばサッカーなら、90分間しゃかりきに走り続けられたいというわけではなく、先を読んで相手の出方を見ながら試合を組み立てていく必要があります。野球なら9回、マラソンなら42.195キロですね。すごい駆け引きをするので、先を見通す力が鍛えられます。

また、サッカーやラグビーなどは、試合中の選手の自主性や創造性が勝負に関わってきます。ピッチやグラウンドに出たら、一つ一つのプレーは選手自らが考えなくてはなりません。野球でも、無死一塁二塁でバントのフライを捕るかどうかはとっさの判断になります。それぞれの競技のリテラシーが求められます。スポーツで鍛えられる能力は、世の中で生きていく力につながると思っています。日本の新しいスポーツ文化を創造するような学生を送り出したいと思っています。



スポーツでは英会話が必要な場面もありますが、英語でのコミュニケーションはAIに任せて、ディスカッションや自己主張する人間力が重視されるようになるでしょう。これからは、本当に中身が問われる時代になると思います。

中村学長 創造性やひらめきで人を評価する時代が来るのではないのでしょうか。今の世の中は知識量や処理能力で評価され、いろいろなことが決まっています。それが変わろうとしている。とても面白いですね。大阪成蹊大学やびわこ成蹊スポーツ大学では、アクティブラーニングやPBL(Project-Based Learning課題解決型学習)を充実させています。しっかり自分のアタマで考える習慣を身に付け、自分の発想を大切にしてほしいです。将来、きっと役に立ちますよ。

大阪成蹊大学



大阪成蹊大学がNVIDIA社と連携協定を締結

2023年4月に、締結式が行われ当日はマスコミ各社を招いて記者会見が行われました。中村学長より、「研究者にとってNVIDIA社とは、研究のパートナーであり貴重な存在。新しい学部を作る以上は、最高水準の教育研究環境を整えたいという思いのもと、NVIDIA社の製品を備える最先端の施設

NVIDIA社
さまざまなソフトウェア・ハードウェア製品に加え、生成AIの原動力となる半導体チップを開発・製造。同社が手がける画像処理半導体(GPU)は、AIのデータ処理に使われており、対話型AI「Chat(チャット)GPT」を開発した米新興企業オープンAIも顧客となっている。

設備を整えました。」と説明。また本学データサイエンス学部について、「京阪神の国立大学や企業などで実績のある研究者が集結しており、特徴があること、また『教育の質』の指標である教員一人当たりの学生数(ST比)は4.7人という少人数教育により、丁寧な指導を推進していく」と、抱負を語りました。

びわこ成蹊スポーツ大学

ASS Athlete Support Station 最新設備と最先端科学でアスリートサポートステーション アスリートを全面サポート！

エリートアスリートが専門機関で実施する測定と同等の高度な測定が可能なスペースとして2022年度より始動しました。スポーツ医科学的分析により客観的に競技者のパフォーマンスを評価し、フィードバックおよびトレーニングメニューの立案を行い、競技力向上をサポートします。

2022年10月には同施設が、独立行政法人日本スポーツ振興センターの「ハイパフォーマンススポーツセンターネットワーク連携機関(アスリート支援:体力測定)(アスリート支援:FAAB)」に指定されました。

HPSC
認定

主な測定設備・機器

※内容はニーズに合わせてカスタマイズ!

①トレッドミル / ②自転車エルゴメーター / ③呼吸ガス分析器 / ④多用途筋機能評価運動装置 / ⑤フィールドパフォーマンス評価機器 / ⑥体組成測定器 など



Ⅱ 大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

社会で活躍する 卒業生インタビュー

様々な業界で活躍する本学の卒業生の方々に、お仕事や学生時代の学び、後輩へのメッセージについて伺いました。



大阪成蹊大学 芸術学部 2022年3月卒業

西尾 夏央里さん(株式会社スクウェア・エニックス/2Dデザイナー)

自分の作品を皆さんに
お届けできる日が待ち遠しい

大好きなゲームと絵を描くことの両方に携わりたくて、大阪成蹊大学の芸術学部へ入学。卒業後は、目標であったゲーム会社のデザイナー職に就職。現在は主にキャラクターデザインやイラスト作成を担当。お客様の期待を超えるコンテンツづくりに日々真剣に取り組んでいる。

ー現在のお仕事内容とやりがいについて教えてください。

現在は、ゲーム会社で2Dデザイナーとして働き、主にキャラクターデザインやイラストなどを担当しているのですが、やはり一番のやりがいは、自分の描いたものが無事採用されて、ユーザーの皆さんにお届けできた時です。

キャラクターデザインは、コンセプトやその理由を添えて上司の方々に提出するのですが、そのコンセプトの意図がしっかり伝わって、採用された時は本当に嬉しく感じます。また、提出したデザインに対して、上司の方々からさまざまな意見をフィードバックしていただくこともあります。同じチームの皆さんと悩みながら、ともに作り上げていくなかで、より良いデザインが仕上がった時は達成感がありますし、ユーザーの皆さんにお届けできることを待ち遠しく感じています。

ー大学時代の学びは、今のお仕事にどのように活かされていますか？

大学時代に専門的な技術である、イラストやキャラクターデザインを学んだことは、今の仕事に直結しています。在学時に

はプロの現場でも使われている機材やソフトがあり、その使用経験もあったおかげで、現在の仕事環境にもすぐに慣れることができました。また、教養として学んだ美術や芸術の歴史も、デザインする際の引き出しや知識になっており、自分の成長を実感しています。

在学中に、いろんな先生方に自分がめざしていた業界のお話を伺ったり、同じコース内の友達とお互いの趣味の話をしたり、そういった交流で得た知見はとても刺激的で、今の仕事にも活かされていると感じます。

ーあなたにとって、「大阪成蹊大学」をひと言で表すと？

「自分らしく成長できる場所」です。先生方や同級生のみならず高め合いながら、自信をもって成長できる環境だと思います。特に、芸術学部の先生方は実力や実績のある方々ばかりで、必ず学生の皆さんの力になってくれると思います。

また、大学である強みとして、専門的な分野以外にも、多く広く学べるという点もあります。クリエイターやアーティストとしても、ひとりの人間としても、自分らしく成長できる場所とし



て、より多くの要素が備わっていると思います。

ー最後に、学生のみなさんへメッセージをお願いします。

大阪成蹊大学は、のびのびと学ぶことができる場所です。皆さんの学ぶ姿勢を温かく見守り、背中を押し、そして協力してくれる仲間がいます。積極的に取り組みれば取り組むほど、皆さんの将来の可能性を広げることができるはずです。

大阪成蹊短期大学 幼児教育学科 2014年3月卒業

上加世田 美穂さん

(社会福祉法人 松稲会 マザーシップ上新庄保育園/保育士 主任)

やりがいや得るものが多い、胸を張って誇れる仕事

幼い頃から憧れの保育士をめざし、高校時代までを鹿児島県徳之島で過ごす。大阪成蹊短期大学へ地元の高校の先輩が進学したことを知り、同じ夢を持って本学への進学を決意。親元を離れて単身大阪に渡り、2年間の学業を終え、見事保育士の夢を叶えた。10年目を迎える現在は、主任として園全体の運営にも携わりながら、大好きな保育を日々実践している。



ー主任という立場で、現在どのようなお仕事をされていますか？

毎朝、0歳から5歳の全クラスを見て回り、お休みの子が何名いるかなど、名簿と照らし合わせて人数確認を行い、区役所との連携メールの確認、園の清掃などが日課です。あとは、担任の先生方のサポートも重要な仕事の1つです。それぞれのクラスには担任の先生がいますが、トイレやちょっと手が足りないといったタイミングで、私を好きに使っていただけるように「なんでも屋さん」のような立ち位置でいつも準備しています。

先日は、4・5歳児のクラスでプラネタリウム鑑賞を行うイベントが予定されていたので、現地まで写真を撮りながら、一度下見を行いました。バスの降車ポイントに危険がないか、バス車内の階段ステップの高さはどうか、客席がどうなっているかなどの確認を行い、園に帰ってから説明を交えて、各スタッフと情報共有を行いました。

ー保育士の仕事のやりがいを教えてください。

保育士として今年で10年目になるのですが、今まで辞めたいと思ったこともありませんし、やっぱり子どもたちや保護者の方々からいただく言葉が保育士をやっている良かったと思う瞬間ですね。先日、この園に赴任して一番最初に担任したクラスが3月に卒園を迎えたんですが、「あの時、先生が担任で良かった」と言ってくださったり、卒園する女の子が「先生みたいな保育士さんになりたいです」と言ってくれて、本当に嬉しくて涙がこぼれました。私も小さな頃から「保育士になりたい」と言っていたのですが、まさか自分が言われる番が来るとは思ってもみま



んでした。本当に子どもたちのおかげだなと感じながら、日々頑張らないといけないなと思っています。

ー普段、保護者の方々と、どのように接していらっしゃいますか？

もちろん、お子さんたちと一緒に遊んだりすることでもすごく大好きなんですけど、私は保護者の方々という人とお話をさせていただく時間を過ごすのも大好きです。子どもとの関係性も大事なんですけど、やっぱり子どもたちの成長を一番近くで見てくださるお父様やお母様、おじいちゃん、おばあちゃんのお話を聞けるのは、すごく貴重ななと感じています。雑談をしつつも、お家での様子を伺ったりすると、食べさせ方やトイレトレーニングの方法など、他の子どもたちにもいかにすることってすごくいっぱいあると思うので、保育の参考になるというか、たくさん勉強させていただいています。お帰りの時間にお話すると、ついつい長くなってしまうのですが、いつでも保護者の方々に近い存在でありたいと思っています。

ー短期大学時代を振り返って、心に残っていることはありますか？

私は出身が徳之島(鹿児島県)なんですが、当時は島にピアノ教室がなくて、友人のお母さんにお願いして習っていたので、ほとんど独学のような環境で練習していました。だから、短期大学に入学して、ピアノを練習する部屋がたくさんあることにも驚きましたし、近くに講師の先生方がいらっしゃるって、わからないところがあればすぐに教えてもらえる環境がすごく恵まれているなと感じました。また、他の方が使っていなければ、自由に練習していいという開放的な感じだったので、もう本当に入学してから行かなかった日がないくらい毎日通っていたことを思い出します。

そして、この学校に来てから仲良くなった友人たちに出会ったことも本当に良かったと思います。今でも近況を報告しあったりして、繋がってられるのも、貴重な財産です。なかには徳之島に移住した友人もいるんですよ。

ー後輩で保育士をめざす方へメッセージをお願いします。

保育に関するいろんなネガティブなニュースを目にすることも多くて、私たちもそのたびに背筋が伸びる思いがします。でもそういうネガティブなことだけではなくて、本当にこのお仕事で得られるものは、すごく多いと思います。子どもたちの声であったり、保護者の方々からの感謝の言葉であったり、本当にやりがいのある、胸を張って誇れるお仕事です。だから、これからもずっと続けていきたいと思っています。保育士をめざしたいと考えている方がいたら、ぜひ大阪成蹊短期大学に飛び込んでください。私がそうであったように、いろんな講師やアドバイザーの先生方、そして同じ志を持った仲間が、きっとあなたを育ててくれます。

Ⅱ 大阪成蹊学園

ファミリー入試制度のご案内

ご家族(受験者から三親等以内)のいずれかが、大阪成蹊学園内の併設校(ただし幼稚園を除く)の卒業生または在学生である方が対象になります。ファミリー入試合格者のうち、成績基準を満たす方には学費免除制度などの特典があります。*2024年度入試の詳細は右記までお問い合わせください。



お問
合わせ先

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 広報統括本部
Tel:06-6829-2554 (平日9:00-17:00)
びわこ成蹊スポーツ大学 入試部入試課
Tel:077-596-8425 (平日9:00-17:00)

クラブ活動 TOPICS

世界大会で華々しい活躍を見せる学生・生徒!!

大阪成蹊学園



チアダンス部
2名が世界大会(4月
アメリカ開催)で活躍

左:徳田 仁愛さん(教育学部 教育学科 1年生)

2023 ICU Junior World Cheerleading Championships/パフォーマンスチア Junior pom部門 銀メダル

右:堀 萌衣那さん(経営学部 スポーツマネジメント学科 1年生)
世界大会「THE DANCE WORLDS」
Senior Small Pom部門 11位



大阪成蹊大学



アルティメット部から2名が「WFDF2023
世界U24アルティメット選手権大会」(7月イギリス開催)に出場



左:伊藤 盟理さん(教育学部 教育学科 4年生)

右:橋爪 ひかりさん(経営学部 スポーツマネジメント学科 3年生)

びわこ成蹊スポーツ大学



陸上競技部
第20回U20アジア選手権(6月韓国開催)
で6位入賞



倉 凌雅さん(スポーツ学部2年生)
走り幅跳び 決勝/6位 7m08(+0.1)

アルティメット部
「WFDF2023世界U24アルティメット
選手権大会」(7月イギリス開催)に出場



石川 響介さん(スポーツ学部3年生)

大阪成蹊女子高等学校



スポーツコースから2名が、
2023年IBTF世界バトントワリング
選手権大会に出場(8月イギリス開催)



左:溝畑 結子さん 出場部門/アーティスティックチーム
右:石原 優さん 出場部門/スリーバトン シニアI部門
いずれもスポーツコース3年生(学外クラブ所属)

ART NEWS

大阪成蹊学園

第4回大阪成蹊学園Music Festivalを開催

6月24日(土)に、駅前・新キャンパス「こみちホール」で
Music Festivalを開催いたしました。余韻も適度に残る心地
よいホールの響きに多くの聴衆が魅了されました。

【テーマ】「祭」、「祝」

【出演】大阪成蹊女子高等学校吹奏楽部/大阪成蹊女子高等学校コーラス部/
大阪成蹊大学・短期大学吹奏楽部/大阪成蹊大学・短期大学コーラス部(写真左から)



大阪成蹊大学

芸術学部学生が
制作したデザインが、
各自治体で採用

社会で求められる芸術力を育てる芸術学部。各自治体の
持つ課題や市民に求められている「街」を理解したうえで
デザインし、社会実装されました。



大阪府吹田市

吹田市公式キャラクター「すいたん」の
公式コスチュームデザインと
公式イラストを制作



大阪府摂津市

マンホール蓋デザイン4種と
配布用カード制作



大阪府島本町

島本町バイロカルマップと
お土産商品デザインなど

大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学

就職実績絶好調



【2023年3月卒業生実績】

- 大阪成蹊大学・短期大学計(相川キャンパス)で過去最高の内定率99.6%!
- びわこ成蹊スポーツ大学で5年連続内定率100%を達成!
- 大阪成蹊短期大学で、内定率100%をはじめて達成!

2023年3月卒業生実績	大阪成蹊大学	びわこ成蹊スポーツ大学	大阪成蹊短期大学
内定率	99.3%	100% (5年連続)	100% (初)
就職希望率	93.3%	92.7%	91.1%
正規雇用率	93.4%	81.2%	94.2%
大企業比率	40.0%	44.0%	50.6%

学生一人ひとりの就職活動をしっかりとサポート

コロナ禍で停滞していた観光業界を中心に求人状況は回復しています。また大阪成蹊大学の経営学部でも初の就職率100%を達成することができました。2024年3月卒業生の就職活動も現在順調に推移しており、企業の採用意欲も強く、複数内定を獲得している学生もいます。就職部/キャリア支援課では学生一人ひとりに合わせたきめ細やかなサポートを実施していますので、学生のみなさんはお気軽に就職部/キャリア支援課をおたずねください。

<大阪成蹊大学・短期大学の主な就職先>

コストコホールセールジャパン、スターバックスコーヒー、ジャパン、JTB、Kスカイ、ANA関西空港、ドームユナイテッド、アシックスジャパン、帝国ホテル、ロイヤルホテルなど。

<びわこ成蹊スポーツ大学の主な就職先>

サンスター技研、日本瓦斯、日本郵便、滋賀銀行、ザナックス、ヒマラヤ、モンベル、F.C.大阪、モンテディオ山形、滋賀レイクスターズなど。また、J1クラブのヴィッセル神戸にもJリーガーとして加入。



学内で行われた合同企業説明会

大阪成蹊短期大学附属 こみち幼稚園

—大阪成蹊短期大学附属—
こみち幼稚園だより

本園は、短期大学附属幼稚園ということで、短期大学の幼児教育学科の1・2年生の教育実習、大学教育学部 幼児教育コース3年生の教育実習、2年生の体験学習、併設校の大阪成蹊女子高校1年生の3日間の年2回の体験学習を受け入れています。

教育実習は、幼稚園教諭の免許取得のためには必須であり、体験学習も教育課程の中に位置づけられています。高校や短大、大学の授



実習生が来ています!

業の中で学修したことと実際の保育活動を結びつけて、幼稚園の保育活動を理解するとともに、園児と過ごす楽しさや喜びを感じ、幼児教育の魅力を感じてほしいと願って学生たちを指導しています。また、私たち教員も自己の保育活動や保育観を見つめ直す機会になり、気持ちを新たにさせてもらっています。園児にとっても先生とはちがう人と触れ合う時間は貴重なものとなっています。

今年度は、まず5月15日から26日までの10日間、短期大学2年生が教育実習にきました。昨年11月、1年生の時に教育実習を経験した学生たちです。毎日、保育補助や給食の配膳、環境整備や保育準備を行い、絵本の読み聞かせやピアノを弾くことも経験しています。2年生になると設定保育という30分程度の保育活動を自分自身で内容を考え、指導案を作成



して実際に保育を行います。実習で配置されたクラスの園児の年齢によって随分と保育内容は変わってくるので、担任から指導を仰いで苦労しながら指導案を作成して保育を行いました。コマやこいのぼり、てるてる坊主を作ったり、お弁当箱に見立ててお弁当を描いたり、ちょうちように模様を描いたりする製作や絵画活動。。音楽に合わせて動物になりきったり、新聞紙ボールで的に向かって投げる遊び



や新聞紙を使ってじゃんけん勝負や風船を運ぶゲームで身体を動かす活動をしたり。。一人ひとり一生懸命工夫して保育を行いました。

今回の設定保育を経験して、はじめてわかる事や気づきがたくさんあったことと思います。こみち幼稚園の実習で経験したことや学んだことはきっと次につながっていきます。失敗をおそれずどんな事にも前向きに取り組んでほしいと思います。いつも笑顔で子どもたちと共に成長できる素敵な保育者になってほしいと教職員一同願っています。

こみち幼稚園 園長 水上明美

大阪成蹊学園

大阪成蹊短期大学

文部科学大臣賞・大阪府知事賞・大阪市長賞・毎日新聞社賞

後援／文部科学省・大阪府・大阪市・大阪府教育委員会・大阪市教育委員会・毎日新聞社

第13回大阪成蹊

全国アート&デザイン
コンペティション 2023

高校生
中学生
作品募集

【作品募集期間】

2023 9.1(金)
10.5(木)

OSAKA
SEIKI
ART
&
THEME ワタシノセカイ
DESIGN
COMPETITION
2023

大阪成蹊学園では、大阪成蹊大学芸術学部と大阪成蹊女子高等学校美術科と共に、13回目となる「大阪成蹊全国アート&デザインコンペティション」を開催します。

本年は、受賞項目に「大阪市長賞」を新設し、優れた作品には個人賞並びに優秀学校賞を授与します。また受賞作品は本学ギャラリーにて展示・公開いたします。

多くの皆様からのご応募をお待ちしています。

【テーマ】ワタシノセカイ

「ワタシノセカイ」を、自分のまわりの世界、自分の好きな世界観、マイワールド、これからの未来や社会を自分が感じる、考える世界観として自由に表現してください。

対象 国内に在住する高校生・中学生

詳細 大阪成蹊大学WEBサイト内 特設ページ
<https://univ.osaka-seikei.jp/lp/art-design-competition/>



大阪成蹊短期大学 生活デザイン学科 2023年度全国高校生

ファッション
デザイン画
コンテスト

高校生の皆様の自由で豊かな発想によるあたらしいアイデアを発掘すべく、今年度も「全国高校生ファッションデザイン画コンテスト」を開催します。

作例

テーマ delight

デザインには見た人を楽しませたり、喜ばせたりする力があります。今回のテーマ「delight」は楽しませる・喜ばせるという意味があります。見た人が元気になるような作品を、みなさん一人ひとりの個性を自由に表現して、創作してください。

応募資格 高校生(個人)

応募方法 B4サイズ用紙に縦向きでデザイン画を描いて郵送してください。未発表のものに限りです。画は上手くなくても自分の個性を表現できていれば評価します。用紙は白色の画用紙またはケント紙を使用してください。応募は何点でも可能です。

応募期間 ※消印有効

2023年7月17日(月)~9月29日(金)

応募期間中のオープンキャンパスで描画や表現方法をアドバイス!

詳細 大阪成蹊短期大学WEBサイト内
<https://tandai.osaka-seikei.jp/news/931>



説明文(例)

ファッションとは切っても切れない関係にある高級繊維「シルク」。(略)その糸を作り出している虫について知っている人は少ないのではないのでしょうか。シルクを作り出す蚕は「飼い子」とも書きます。(略)人間と蚕の数千年という長い物語の中で捕らわれた人の姿を、繊維の女王である蚕の一生に見立てて衣装として表現しました。(略)